

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	松本市			代表者名	臥雲 義尚
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進本部	連絡先電話番号	0263-48-7000
担当者役職	情報政策幹(CDO補佐官)	担当者氏名	高橋 浩道	連絡先E-mail	
住所	390-8620 長野県松本市丸の内3番7号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	DXを担う職員の人材育成		
概要	「市民にデジタルの恩恵が届く市役所」を実現するため、常に業務改善を目指すマインドセットを職員に定着させる。				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 行政手続オンライン化				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	249	令和6年10月16日	支援・助言	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月21日	支援・助言&講演(実地)	10時00分	16時00分	
			活動時間(分)	360	
2-2. 派遣場所	会場名	松本市役所	最寄駅	松本駅	
	所在地	松本市丸の内3番7号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体業務及びデジタル庁での業務の経験から、本市で課題となっているいくつかの点に関して講演、助言をいただいたことは大変有意義であった。また、参加者から高い評価を受けており、標準化や庁舎改築に向けて、庁内で職員が「ゲームチェンジャー化」するきっかけとなったことは明らか。今後この熱を冷ますことなく業務のデジタル化を進める仕組み作りを進めていく。
アドバイザーへの要望事項	第3回支援に向けて、職員から質問や悩みが多く出されてくることが予想されるため、アドバイスをお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	90人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	90				

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	本市は、令和3年に「DX骨太の方針」を定め、各種デジタル施策を推進してきた。現在、業務システム標準化に取り組んでいるが、併せて新庁舎建設に伴う庁舎の分散配置が計画されており「市民に身近な市役所づくり」を進めるため、業務の見直し、改善が待ったなしの状況です。しかしながら、職員の業務改善に対する志向は弱く、課題解消検討に入れていない。「課題を課題として認識する力」「デジタルを活用する意識」を身に着けることが必要となる。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	1 職員が担当する業務の改善を進める思考を持つ。 2 職員がデジタル化を進めていくために取得すべき技術・知識は何かを理解し、その技術・知識取得のため取り組むことができるようになる。 3 1・2の成果から、職員が業務改善によるデジタル化のヒントを見出すことができ、施策として取り組むことができる。 4 取り組んだ経験・成果を他の職員に横展開できるようにする。

<p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>1 午前中は「あなたもゲームチェンジャーになりませんか」というテーマで2時間の講演を実施。会議室に40名、WEBで30名の参加。人口減少に伴い職員数が減少する一方、自治体へのニーズがより高まる。市民サービスの進め方、職員の働き方に関して「イケテナイ」環境を後任の若い世代に残さないために、自分の世代のうちにDXを活用して課題を解決する必要性を説明いただいた。特にトランスフォーメーションを進める仲間づくりが重要。 2 午後は意見交換会を開催、20名が参加。すでに庁内で新たな取組を始めているグループや研修に参加した職員がこれまでの取組を発表。参加者同士でこれからの取組について意見交換を行い、アドバイザーに助言をいただいた。</p>	
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化、DX化が自分事でないと感じていた職員が自らが担当する業務の改善を進める思考を持つことができた 加えて自らがゲームチェンジャーになりたいとの意識を持つ職員がでてきおり、積極的な取組につながる現課の環境が整いつつある。(アンケート結果から) 	
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。</p>	<p>⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 当日支援準備資料、当日の写真、アンケート結果を添付します。</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>今後、今回の研修を通して高まった職員の意識が冷めることなく継続化させていくため、庁内チャットルームに「ゲームチェンジャー研修会」のルームを作成し、職員がDX化の中で感じている疑問や悩みを共有し、解決するための支援を進める。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 午前中の講演会に40名午後の意見交換会に10名の回答があった(10月21日現在)。評価は講師の説明、資料とも満足度が高く、逆にもっと時間が欲しかった等の意見もあった。</p>	
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものリストより選択下さい 今回意識変革された職員がゲームチェンジャーとなってそれぞれの組織で変革を進めていくサポートを継続する。一つでも多くの成果が出るように取り組んでいく。</p>	<p>④予算以外で、今後取組む事項がある</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>新たに建設される庁舎で、「市民に身近な市役所づくり」が実現され、市民の利便性が向上する。標準準拠システムへの移行により、共通化された業務により庁内業務の効率化が進む。</p>	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkokou/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

